いわてアグリフロンティアスクール アドオンプログラム

「スマート農業・DX 実践講座」

１．趣旨

本プログラムは、スマート農業技術の基礎知識から経営改善への活用、政策・補助制度の理解、現場実装に向けた導入計画の作成までを体系的に学び、スマート農業の導入・運用及び地域展開を担う人材の育成を目的として実施します。

講義はオンデマンド形式で実施し、現地研修、導入計画作成演習及び成果発表は対面形式で行います。受講者が実際の導入事例を学びながら、自らの経営や組織、地域におけるスマート農業技術の導入方策を具体化することを目指します。

なお、今回は、「土地利用型農業」をテーマとして、農閑期に合わせ、短期集中型（２か月間）で実施します。

２．主催等

主催：岩手大学

共催：いわてアグリフロンティアスクール運営協議会

３．実施期間

令和９年１月中旬から令和９年３月上旬まで

４．実施方法

講義：オンデマンド形式

現地研修、演習、成果発表：対面形式

５．募集定員

15 名

６．受講料

10,000 円

※ 大学生及び大学院生は無料です（オンデマンド講義のみ受講可能）

※ 受講決定後、申込時に登録いただいた住所宛てに請求書を送付します。受講料は納付期限までに指定口座へお振り込みください。なお、振込手数料は受講者の負担となります。

７．募集期間

令和８年 11 月 27 日（金）から令和８年 12 月 18 日（金）まで

８．受講対象者

次のいずれかに該当し、水稲・麦・大豆等を中心とした土地利用型農業におけるスマート農業・農業 DX

に関心を有する方

（1）先導的農業経営者、農業法人の経営・管理層、JA・行政・普及指導員、農業支援サービス事業者、農業関連企業関係者

（2）いわてアグリフロンティアスクール受講生及び修了生（アグリ管理士）

（3）大学生及び大学院生

９．講義内容

本プログラムでは次の内容を学びます。

※ 講義内容、動画配信日、対面講義実施日及び時間数は現時点の予定であり、都合により変更となる場合があります。

配信日・実施日	回	科目名	実施方法	時間数	主な内容
令和９年 1月18日(月) ～	1	スマート農業総論	オンデマンド	2	スマート農業の全体像を理解する科目。 特に、土地利用型農業においては、農地集積や規模拡大が進む一方で、作業適期の集中、オペレーター不足、圃場分散、機械投資の負担が大きな課題となる。これらの課題に対し、スマート農業がどのような解決策となり得るのかを学ぶ。
	2	スマート農業技術体系総論	オンデマンド	2	水稲、麦、大豆等の土地利用型農業では、技術を単体で導入するのではなく、耕起、播種、田植え、施肥、防除、水管理、収穫、乾燥調製、作業記録までを一連の体系として捉える必要がある。 本講義では、作業体系・機械体系・輪作体系を踏まえたスマート農業導入の考え方を学ぶ。
1月25日(月) ～	3	ロボット農機･自動化技術概論	オンデマンド	3	自動操舵、直進アシスト、ロボットトラクタ、スマート田植機等を中心に、土地利用型農業における自動化技術の導入可能性を学ぶ。 特に、熟練者依存の軽減、作業精度の向上、若手・新規雇用者の早期戦力化、複数台協調作業など、経営面での効果を重視する。
	4	農業用ドローン活用概論	オンデマンド	3	水稲・麦・大豆における農薬散布、肥料散布、リモートセンシング、生育診断、病害虫・雑草の確認などを扱う。 あわせて、自社保有と外部委託の比較、作業受託モデル、安全管理、法令・資格、地域単位での共同利用の可能性も学ぶ。
2月1日(月) ～	5	ICT・IoT活用概論	オンデマンド	3	水管理システム、圃場センサー、気象データ、土壌データ、機械稼働データ、作業記録、クラウド型営農管理システム等を扱う。 土地利用型農業では、圃場枚数が多く、分散している場合も多いため、情報を一元管理し、作業判断を効率化する視点を学ぶ。
	6	AI･データ活用概論	オンデマンド	3	AIやデータサイエンスの基本を理解した上で、生育予測、収量予測、画像解析、病害虫診断、可変施肥、作業計画支援などの活用可能性を学ぶ。 あわせて、生成AIを活用した営農記録の整理、補助金申請資料の下書き、社内マニュアル作成、作業指示文書作成など、管理業務への応用も扱う。

2 月 8 日(月)～	7	スマート・DX 経営総論	オンデマンド	4	スマート農業技術を導入する目的を、単なる省力化に限定せず、経営改善、人材育成、作業標準化、品質安定、収益性向上に結びつけて考える。
	8	政策・補助金制度概要	オンデマンド	2	スマート農業関連政策、国・県・市町村の補助事業、スマート農業技術活用促進法、認定制度、金融支援等を学ぶ。 単なる制度紹介ではなく、受講者が自経営・自地域で制度活用を検討できるよう、申請時の考え方、事業計画作成のポイント、自治体・JA・金融機関との連携も扱う。
2 月 8 日(月)	9	現地研修	対面	4	現地研修では、水稲・麦・大豆等の土地利用型農業においてスマート農業技術を導入している農業法人等を訪問する。(実機見学､導入事例等)
2 月 15 日(月)	10	導入計画作成演習	対面（岩手大学)	4	受講者自身が、自経営・自組織・自地域におけるスマート農業導入計画を作成する。 農業者・農業法人職員は自経営への導入計画を、JA・行政・普及指導員は地域・産地への導入支援計画を、農業支援サービス事業者や農業関連企業はサービス提供・連携モデルを作成する。
3 月 2 日(火)	11	成果発表・個別講評	対面（岩手大学)	4	最終回では、受講者が作成した導入計画を発表し、専門家や他受講者から講評を受ける。 これにより、受講後の実装、補助制度活用、関係機関との連携、事業化・横展開につなげる。

10. 申込方法

下記の申込フォームからお申し込みください。

https://forms.cloud.microsoft/r/C4E5zfF9H0

11. 問い合わせ先

(申込み、受講料及び事業全般に関すること)

いわてアグリフロンティアスクール運営協議会事務局　(岩手大学農学部地域連携推進室内)

〒020-8550　岩手県盛岡市上田 3-18-8

TEL：019-621-6231　E-Mail：atiren@iwate-u.ac.jp

(受講案内及び講義運営に関すること)

株式会社パソナ農援隊　地域創生事業部

〒107-0062　東京都港区南青山 3-1-30

TEL：03-6734-1260　E-Mail：agri@pasona-nouentai.jp

12. 受講者への連絡について

本プログラムの受講決定通知、講義受講に関する連絡及び受講者対応の一部については、岩手大学が委託する株式会社パソナ農援隊が実施します。申込後の各種連絡は、内容に応じて岩手大学又は委託事業者から電子メール等により行いますので、あらかじめご了承ください。